



第1回定例研修会(CISJ)に参加して

特別講演

歯周病患者とインプラント治療

講師：西堀雅一先生（歯科医師）

日時：平成23年7月31日（日）

場所：東京ステーションコンファレンス

池澤佑樹（東京都）



平成23年7月31日、東京ステーションコンファレンスにて第1回定例研修会が開催されました。

今回は東京都開業の西堀雅一先生をお招きし、「歯周病患者とインプラント治療」と題して、非常に興味深い講演をしていただきました。

昨今の歯科界ではインプラントの技術等がかなり向上したこともあり、安易に、抜歯→インプラントに置換、といった現状が多くみられることに、西堀先生ご自身も注意を喚起しておられ、また、単根の健全歯に関しては歯周病がかなり進行していたとしてもしっかりと歯周治療を行えば、かなり保存でき

ると強調しておりました。

特に初診時の診断（hopelessやquestionなどと判断した場合）であまり保存ができなさそうだと思われた歯でも実際に経過を追ってみると8割以上が初診時の診断以上に保存できているとおっしゃっていました。

そういう意味でも、やはりまずは天然歯の保存を第1に考えることが重要だともおっしゃいました。

また、会員発表も、先日の全員発表会からあまり時間がたっていないにもかかわらず、活発であり、非常に内容の濃い研修会になったのではないかと思います。

井汲先生のAAP講演報告もありましたが、これは以前、他の講演会にて一度拝聴させていただいたものでしたが、今回はさらに噛み砕いた内容に再編集していただけて、より理解が深まりました。

今後もできる限り研修会に参加し、知識を深めるとともに、それらを日々の臨床にできる限り生かして、精進していきたいと思っております。